



議会だより

〒903-0220 沖縄県中頭郡西原町字嘉手苅112番地 TEL.FAX 098-945-5005

発行：西原町議会 編集：議会広報調査特別委員会 印刷：(協)丸正印刷



黒糖作りを体験学習する内間団地の子供会



平成13年度一般会計補正.....	2
平成13年度特別会計補正.....	3
南部広域行政組合への加入.....	4
農業地の土地改良事業計画.....	4
氾濫する小波津川、二級河川指定へ!.....	5
臨時議会.....	5
一般質問.....	6
意見書 / 決議.....	15
議員研修報告.....	16

3月定例会の傍聴ご案内 3月7日(木)~午前10時開会予定

詳しい日程
問い合わせは
議会事務局へ

介護保険

保険給付資の確定による

5,719万6千円の追加で

10億5,065万円に!

主な歳入

国庫負担金	1,492万円
支払基金交付金	1,849万7千円
財政安定化基金支出金	△3,205万5千円
繰入金	815万3千円
財政安定化基金貸付金(町債)	4,067万5千円

主な歳出

保険給付費 5,605万円

介護・支援サービス等諸費	5,591万円
その他の諸費	14万円

議員着目!! (地方への借金転化)!!

財政安定化基金(国、県、市町村各1/3負担)は、これまで県支出金として勘定されていたが、国・県の指導不足が発覚。今年度より、地方債(町債)として、組み替えられることとなった。償還は市町村が次の第1号被保険料の設定(H15年4月)の際に借入分を算入して徴収されます。町は基金に対して3年間で償還(繰上償還も可)しなければなりません。

単独続行か 広域連合加入か

「介護保険広域連合加入調査特別委員会」設置

現在、県下の36町村は、県民が等しく介護保険制度の恩恵を受けられるようにと、平成15年4月開始の「沖縄県介護保険広域連合」設立と加入の是非についての、作業中である。

本議会も12月定例議会で「沖縄県介護保険広域連合加入調査特別委員会(9人)」を設置した。

同委員会は平成14年2月4日~6日の間、佐賀中部広域連合、福岡県介護保険広域連合、須恵町(加入町)福岡町(非加入町)を調査した。

本町議会も6月定例会に議決を求められる予定であることから、町民福祉についての慎重な審議を要する。

- 委員長 伊川幸子
- 副委員長 前里光信
- 委員 富 春治・伊礼 一美・宮城 秀功
- 仲松 動・長浜ひろみ・城間 義光
- 仲宗根健仁

公共下水道事業

国庫補助金

2,485万円の減額で

7億711万4千円に!

主な歳入

国庫支出金	△1,500万円
繰入金	△6,950万円
町債	6,100万円

主な歳出

下水道事業費 △2,437万5千円
(国庫補助金の減額に依る事業の縮小)

議員着目!!

平成14年度下水道の供用開始に向け排水設備指定工事店を登録するため新たに1款として(手数料)の15万円が計上される。

国庫支出金については補助事業の減額内示及び交付決定に伴い(1,500万円)が減額された。繰入金について補助事業が減額になったこと及び起債充当率が変わったこと等に併し一般会計からの繰入れ(6,950万円)の減額である。

町債については、補助事業の減額はあるが、流域下水道建設負担金は起債充当率が75%から100%に変更されて6,160万円の増額。町債合計は3億8,860万円となる。公債費については、12年度率2.0%の政府資金を1.6%又は公営企業金融公庫資金を1.4%で借入できたため191万6千円の減額。しかしながら、国策により補助額が減額。町債(借金)を推進増額させた。結果的に西原町民の負担が増えることになった。

特別会計補正

可決!

歳入歳出総額に 1億2,930万9千円追加 81億7,045万7千円に!

可決!

歳入の部

減額 補正の主なものには町税の4,028万7千円がある。個人所得で669万2千円、法人町民税で1,940万円、さらに固定資産税において、679万2千円の減額が見込まれる。不況下における現実の厳しさが表れたと言える。

増額 における基本的追加額は国庫支出金で、実績見込みに基づく児童手当、障害者給付金、就学前特別給付費等の国の負担金で**1,919万6千円**の追加。
さらに国庫補助金で運動公園の災害復旧事業費**7,346万8千円**の追加。また、県からの福祉、児童、障害関係で**1,000万円**程度の追加がある。

町債 における増額について道路整備で**2,680万円**、災害復旧事業の負担分で**1,830万円**の追加。さらに、図書館建設に向けて新たに**西原町立図書館建設事業債(地域総合整備事業費)**3,300万円の追加を決定した。

平成十三年十二月定例議会は、十二月十四日(二十日)までの七日間の会期日程で八審議を含む十七案件を審議しました。

動き出した 図書館建設

●図書館建設に向けて、13年度中での地域総合整備事業債の芽出し。
●税込見込みに厳しい現状があり、特に法人税における調査、予算のあまさが指摘された。



佐賀中部広域連合にて



福岡町(福岡県)にて



福岡県介護保険広域連合にて

民生・福祉 歳出において歳入における民生費・福祉関係で5,130万4千円。実績で特に介護保険で給付の実績見込みにより特別会計への繰出金として815万3千円等が含まれる。
また、私立保育園児童運営費に635万8千円、また、児童手当給付金で3,248万5千円の追加。

教育関係 図書館用地測量及び実施設計委託料で3,570万円の追加が主で、西原小の備品購入やスクールカウンセラー等が補正された。

災害復旧費 去った9月の台風で崩壊した西原運動公園法面に対して都市施設災害復旧費として9,285万3千円の追加。

予備費 642万7千円減額で2,426万5千円となった。

歳出の部



● **指定理由**

小波津川は昭和四十九年十一月三十日に準用河川に指定され、現在に至るまで西原町が管理してきた。しかし、その間、当該河川流域は土地区画整理事業の実施等による都市化の進展により状況の変化が著しく、現況河道の流下能力不足と相まって降



雨時に度々氾濫するなど大きな被害を及ぼしている状況である。このまま町の管理による河川工事をを行ったとしても、被害を防止することは困難であり、県管理による河川整備計画に基づいた河川工事が必要となっている。

ついに現実化

氾濫する小波津川、

二級河川指定へ！

十二月十七日 議会の同意

臨時議会

〔平成13年11月30日〕

西原運動公園!!
〈工事請負契約締結!!〉

テニスコート

予定地の
周辺工事!!

契約金額：5,932万5,000円
契約相手：三善建設株式会社
〈指名競争入札〉による!



西原町職員の給与 に関する条例

人事院の「給与勧告」及び沖縄県人事委員会からの勧告により、期末手当の規定の改正

12月期末手当

240/100 改正 → 235/100 (0.05ヶ月分の減額)

改正

議会へ提案
可決!

南部広域行政組合への加入

● 審議の要点

近年、住民生活の向上と生活様式の変化、経済活動の進展に伴い、廃棄物量は年々増加の一途をたどり、さらにゴミ質も多様化しており、それらの廃棄物を適正に処理処分し、清潔で快適な住み良い生活環境を守ることが行政の重要な課題である。



東部清掃施設組合

しかし、西原町を含め南部市町村は一般廃棄物最終処分場を保有していないため、残渣の処理を民間に委託していたが、不法行為の発覚により、現在は「倉浜衛生施設組合一般廃棄物最終処分場」へ、一般廃棄物を受け入れ条件に残渣の処理を依頼しているが、この処分場はあと四、五年で満杯になる予定で、将来の最終処分場の適正処理が懸念される。

単独での処分場建設は、用地確保、財政負担等厳しいところが現状であり、南部十市町村が一体となって最終処分場建設に向けて「南部地区最終処分場建設推進協議会」を発足。建設用地も玉城村に内定したため、今回、一般廃棄物最終処分場設備及び管理運営に関する事務を共同処理するため、組合への加入が必要である。

農業所得の安定向上に向けて

可決 農業地の土地改良事業計画

● 目的

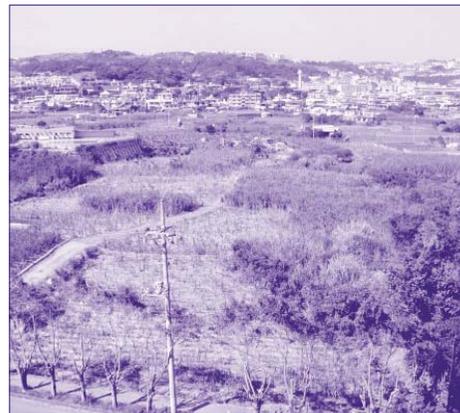
安室地区に区画整理、農道整備ならびに排水改良を行い、農地の集団化及び大型機械の導入等により営農の合理化、近代化を推進し、農業所得の安定向上を図り、計画地域の土地生産性及び労働生産性の向上に資する。

● 事業内容

農業用道路は延長三九〇mの現況農道の幅員を五mに拡幅し、アスファルトによる舗装改良を行い、区画整理は二・七haのほ場を整理し、農道工延長六三四m、排水路工延長一四五四m、防災工(沈砂池)一カ所の設置を計画。

● 計画の概要

受益面積が六・〇ha、受益戸数が四十戸、事業費が一億七〇〇万円、負担区分は国が八〇%、県が十一%、町が九%となっており、工期が平成十四年度から平成十七年度までの四年間を予定。



問 本町内は、国道及び県道などの幹線道路や生活道路として多くの町道が整備されている。健常者には非常に利便性があるが、障害者には歩道の幅が狭く、真ん中に電柱や車道と段差があったり、利用しにくいとの声もある。本町は、町障害者計画「ほのほのプラン」を策定しており、適に、安全に利用できる道路や公共施設の改善、整備について、今後どのように促進していくか伺う。

土木課長 国、県には対応方を再度要請したい。町道は、今後配慮した道路設計

生活環境の整備について



城間義光 議員

問 本町は、ゴミの五種類分別に始まり、門口収集「ゴミ袋の有料化などにより、家庭ゴミの減量の効果が出ていますが、事業系ゴミがなかなか減らない。その対策について伺う。

ゴミの減量化対策について 本町は、ゴミの五種類分別に始まり、門口収集「ゴミ袋の有料化などにより、家庭ゴミの減量の効果が出ていますが、事業系ゴミがなかなか減らない。その対策について伺う。

問 本町は、構成町の中でも事業系ゴミの多い町であり、費用負担も関係してある。指定業者に分別収集の徹底の指導と事業系ゴミの単価が安いのではないかと考えており、早いうちに組合として事業系ゴミの減量化に努力したい。

人材について 本町は都市化が進行し、市に隣接していることもあり、市なみの行政サービスを求められている。今後、職員の増員が厳しい財政状況の中で、町政を運営していくため、今後求められる職員はどのようなべきか、町長の所見を伺う。

町長 職員自ら考え、責任を持つて事業にあたる姿勢が大事である。全ての事業に中長期的な見直しを立て、町民の立場に立つて町民との対話を進め、コスト意識を持つて行政をすることによって、町民が望むサービス向上への対応も可能になると考えている。

こんな質問もしました。
「ふれあいパスの管理について」

問 各市町村で大学院大学の誘致運動が展開されておりありますが町の取組はどうか。県内でも関心が高く、十市町村にならうかと思えますが、我々としては文教のまち西原を目指す本町としてはぜひ本町へと考えておりまして、尾身幸次郎沖繩担当大臣に直接文書も送付もしておりますが、さらに県知事にも直接要請を致しております。去る十一月十日には直接大臣にもお会いし、資料もお上げて正式にまた文書で再度要請も致しました。さらに翌日、中部市町村会の中

大学院大学を誘致し 文教の町の充実を!! 高台公園祭を開催し 地域の活性化を!



屋良朝英 議員

問 琉大正門前の道路「プロムナード」の開通についての進捗状況は、

町長 付属病院と琉大の本学を結ぶラインということですが、プロムナードという表現をしておりますが、これまでなかなか進まず今日になっておりますが、地域の皆さんの了解もいただきまして今後具体的な手続きがあらうかと思っております。一日も早く、琉大、高台公園、付属病院、区画整備区を含めた琉大周辺の地域の一体化に向けて努力したいと考えております。

問 プロムナードが開通すれば、琉大のエイサーを二〇m道路に招致し、上

で懇談する機会がありまして、その場でも重ねてお願いをしたような状況であります。この大学院大学については、具体的にはまだわかりませんが、少なくとも理工系の世界最高級の大学院大学と聞いておられます。琉大、キリ短大、国際大等、さらに本町にはそれなりの企業も集積しております。立地条件としては本町が一番ですよということとで誘致に努力している最中でありまして。

町長 琉大と地域との一体性は、先ほど申し上げたとおりですが、プロムナードを完成させることによつてまず距離感をなくしひとつにするのが地域に開かれた大学だという認識が当局にも絶えずお願いを申し上げておりまして、非常にいいことだと考えております。上原高台でナクニも結構だが、西原には、梅の香もありません。梅の香もか地域のアイディアを活かしながら楽しいまちづくりができればというふうに希望も申しあげておきます。

問 町民参画のまちづくりをめざし、政策決定段階からの町民の意見や提言の機会を連続して定めた「町民パブリック・コメント」条例を提案したいが!!

町長 町民参画のまちづくりを含め、行政内部検討会で「仮まちづくり基本条例」について専門家も交えて検討しており、パブリックコメント制についても関連させたいと考えています。

問 出産費用は出産前から付し負担を軽くすることを強く望みたい。他町ですでに前倒し給付を始めています。本町も14年度から実施できないか!!

保険課長 妊娠から出産予定まで期間の問題や貸し付けが委託払いの形も含めて前払いできる方向で対応検討していきたい。

問 琉大と地域との一体性は、先ほど申し上げたとおりですが、プロムナードを完成させることによつてまず距離感をなくしひとつにするのが地域に開かれた大学だという認識が当局にも絶えずお願いを申し上げておりまして、非常にいいことだと考えております。上原高台でナクニも結構だが、西原には、梅の香もありません。梅の香もか地域のアイディアを活かしながら楽しいまちづくりができればというふうに希望も申しあげておきます。

こんな質問もしました。
一、小波津川の流水について
・水質の改良等
二、農産物の推進について
・漁協会員の漁獲高等
三、狂牛病について
四、同時多発テロと沖繩観光について

問 モデル農家を二〜三戸指定し、若い担い手を育成する必要がある。現在産業課には農業指導員、技術職員が配置されている。本町の農業問題は強い行政力が求められるが、その対応はどうか。

町長 農家経営、技術指導の両方があり、農協、行政農家の三者一体になって推進し、販路拡大もすべきと思ふ。

産業課長 モデル農家を指定する場合、基準が必要で

問 テニスコートの造成工事が着工されていますが、テニス愛好家は中学生から一六〜一七才まで幅広い年齢層であり本町の人からみて六面は必要である。コート面は人工芝、ゴム、コート面の基準、ナイター設備等の計画はどうなっているか。開設に向けての検討委員会はもたれたか伺う。

町長 四面で一定の施設の中で町民が各競技に参加し効率的に利用し得る施設に



冬場のゴーヤー、トマト (字嘉手苅)

問 テニスコートの造成工事が着工されていますが、テニス愛好家は中学生から一六〜一七才まで幅広い年齢層であり本町の人からみて六面は必要である。コート面は人工芝、ゴム、コート面の基準、ナイター設備等の計画はどうなっているか。開設に向けての検討委員会はもたれたか伺う。

町長 四面で一定の施設の中で町民が各競技に参加し効率的に利用し得る施設に

問 十月オープン予定が、いまだにその周辺整備工事が行われていない。進捗と理由をお聞きします。

都市計画課長 末端排水が未整備の状態、テニスコートの造成工事、駐車場工事等の終わり、排水設備、トイレ等使用可能になり来早期にオープン可能になります。

問 したいと思つています。都市計画課長 人工芝コート、ナイターを完備し、公認については日本テニス協会に問合せみたところテニスの場合は陸上競技と違い、公認という言葉はなく、都市公園技術基準に則った設計であります。検討委員会はもたれていません。マリントウン工業用地の購入申し込み状況、面的整備や供用開始は何日頃かお聞きします。

都市計画課長 処分面積六ヘクタールに対し四・七ヘクタール九社の申し込みがありまして、十四年度で契約締結し、十五年四月頃から使用可能と思ひます。

問 中学生の成績評価は絶対評価で!! ガンバツタ生徒は全員「5」に!!

14年度から週5日制、学習指導要領が改正され、より学校と地域の連携が求められます。先生方の地域担当制や、区(字)対抗の球技大会等を開催し、特に中学生との共に活動する場作りはできないか? 又現在行なわれていない生徒の成績評価通知表について、一定のクラス内人数割合で決定する「相対評価」をやめ割り合いあて込みで縛られない「絶対評価」制への導入を提案したい。生徒個人の努力や達成度による評価つまり「5」はクラス内に何人いてもよいのであ

問 町民参画のまちづくりをめざし、政策決定段階からの町民の意見や提言の機会を連続して定めた「町民パブリック・コメント」条例を提案したいが!!

町長 町民参画のまちづくりを含め、行政内部検討会で「仮まちづくり基本条例」について専門家も交えて検討しており、パブリックコメント制についても関連させたいと考えています。

問 出産費用は出産前から付し負担を軽くすることを強く望みたい。他町ですでに前倒し給付を始めています。本町も14年度から実施できないか!!

保険課長 妊娠から出産予定まで期間の問題や貸し付けが委託払いの形も含めて前払いできる方向で対応検討していきたい。

問 琉大と地域との一体性は、先ほど申し上げたとおりですが、プロムナードを完成させることによつてまず距離感をなくしひとつにするのが地域に開かれた大学だという認識が当局にも絶えずお願いを申し上げておりまして、非常にいいことだと考えております。上原高台でナクニも結構だが、西原には、梅の香もありません。梅の香もか地域のアイディアを活かしながら楽しいまちづくりができればというふうに希望も申しあげておきます。



西原東中学校



問 琉大と地域との一体性は、先ほど申し上げたとおりですが、プロムナードを完成させることによつてまず距離感をなくしひとつにするのが地域に開かれた大学だという認識が当局にも絶えずお願いを申し上げておりまして、非常にいいことだと考えております。上原高台でナクニも結構だが、西原には、梅の香もありません。梅の香もか地域のアイディアを活かしながら楽しいまちづくりができればというふうに希望も申しあげておきます。

問 琉大と地域との一体性は、先ほど申し上げたとおりですが、プロムナードを完成させることによつてまず距離感をなくしひとつにするのが地域に開かれた大学だという認識が当局にも絶えずお願いを申し上げておりまして、非常にいいことだと考えております。上原高台でナクニも結構だが、西原には、梅の香もありません。梅の香もか地域のアイディアを活かしながら楽しいまちづくりができればというふうに希望も申しあげておきます。

問 障害者福祉関係の窓口が平成十四年四月より市町村に下りてくるが、精神保健福祉の面で業務に関する組織体制、業務体制、支援体制と、財政支援について伺います。

保健衛生課長 先ず所管課をどこにするか関係課と何度も検討してきましたが、まだ結論は出ていません。健康衛生課か福祉課か、又別の方法があるか最終的な段階です。

事務は市町村に三つ委譲されます。一つ目は精神障害者居宅支援事業（ホームヘルプサービス、ショート

精神保健福祉とごみ問題



伊川幸子 議員



作業所で販売されている品々

障害者の作業所 (上原在)

ステイサービス、グループホーム)です。二つ目に精神障害者の福祉サービス利用のあつ旋、調整、障害者の施設利用の要請です。三つ目に精神障害者福祉手帳の交付申請、通院医療費公費負担の申請等にかかる経費事務です。

支援体制ですが関係課は県の説明会や研修会への参加、保健婦はケアマネジメント従事者養成研修会を受講、職員間の勉強会などを実施しております。

財政的支援は居宅生活支援事業は、国庫補助が1/2、県が1/4となっています。

問 ごみ袋の有料化実施後の家庭系、事業系別の減量の推移を別年比で伺います。

健康衛生課長 家庭系で八月が十二%減、九月が九・七%減、十月が五%減、十一月が八・五%減です。事業系は八月が三%伸び、九月が九・一%伸び、十月が八%伸び、十一月が〇・二%減です。今後商工会や事業所との連携を図り、減量化対策に積極的な協力を求めていく予定です。

二百円の内訳ですが二十円が小売、十円が卸店、製造元に七十二円、収支差額七十八円が基金として積み立てられ生ごみ減量化の为生ごみ処理機購入費の補助等に充てられています。苦情で多いのは不法投棄(特に家電リサイクル法に該当する四品目)です。

問 建設位置はどのような過程を経て決定されたのか?

生涯学習課長 公共用地取得委員会が都市基本計画を得た上で、その中の公共公益施設用地内に設置したほうが良いと決定されました。

問 建設用地の取得予定面積は、及び地権者の合意取得面積は?

生涯学習課長 取得予定面積は一万三千六百平米で二六筆であります。取得合意面積はあります。

問 当初予定より用地及び地権者が増えているのか?

生涯学習課長 取得予定面積は一万三千六百平米で二六筆であります。取得合意面積はあります。

図書館建設の進捗状況を問う



小川 孝 議員

問 建設位置はどのような過程を経て決定されたのか?

生涯学習課長 公共用地取得委員会が都市基本計画を得た上で、その中の公共公益施設用地内に設置したほうが良いと決定されました。

問 建設用地の取得予定面積は、及び地権者の合意取得面積は?

生涯学習課長 取得予定面積は一万三千六百平米で二六筆であります。取得合意面積はあります。

問 当初予定より用地及び地権者が増えているのか?

生涯学習課長 取得予定面積は一万三千六百平米で二六筆であります。取得合意面積はあります。

問 建設費及びその財源はどのように考えているのか?

生涯学習課長 建物本体の総工費はおよそ十七億円を予定しております。

町長 財源は地域総合整備事業債を活用したいと考えております。

問 待機児童を受け入れる無認可の保育園に対し補助金等を交付しその解消を考えてはどうか?

町長 補助金については国や県からもありますが町も一般財源からの待持しもあると考えております。

問 先の見えない不況の中で家計を支える収入を得ようにも小さい子どもを抱えては仕事にも付けないような状況に於いては深刻な状況である待機児童の解消に立及及び認可保育園の増設又は新設が必要であると思いませんか?

町長 無認可をすぐに認可するということではなく施設や体制の問題その他待機児童の解消のためにいろいろ工夫して前向きに検討したいと考えております。

福祉課長 国の設置認可要綱を基に設置の認可の指針に基づいた取り組みをしていきたいと考えております。

重度障害児の学童保育、父母会と話しあつて最善の支援を!!



伊礼一美 議員

農業振興 インゲン生産十倍に

問 西原町普及事業連絡協議会(比屋根和憲会長)は、このほど、インゲン生産の十倍化を現実し、全日農中央会長を受賞しました。この成果をふまえ、西原農業を持続発展させ、方策の具体化こそ、いま、求められます。

産業課長 農業生産を高めるために平成十四年度には津花波地区に経営構造対策推進事業を導入します。この事業を前進させ、農業改

問 失業率が9%台で推移している最悪な事態を緊急雇用特別交付金事業を活用して、いくらかでも打開するために失業者の相談窓口を設けるべきではありませんか?

町長 事業内容の広報活動はやるべきだが、専門的な相談窓口が設置できるかどうか検討してみる。

問 不況の嵐の中で歯を食いしばって奮闘している中小零細業者の営業が守られるように小口融資制度の枠拡大と、返済期間の延長を行うことを求めます。

産業課長 現在の返済期間三年を五年に改善する。

問 昨年の劣化ウラン弾問題に続き、今年も物騒な不発弾騒動に明け暮れたいにやまらぬ。町長、責任をもち、不発弾を処理すべきです。不発弾処理の実態はどうなっているのですか?

総務課長 今年度は西原小学校の校舎の改築現場をはじめ五件発生し、避難世帯人口が合計で、九三六世帯の六、二〇八人で無事に処理されました。

町長 この問題は戦後処理の問題として、国が取り組むべきものであり、機会ある度に要請している。

問 養護学校に通っている重度の障害児が放課後や夏休みなど長期休暇を兼ねて過ごすように障害児の学童保育の活動を実施している「えぶろん」に行政としての支援が求められています。

町長 父母会と話し合っただけで済ませたい。

町長 障害者対策というよりも心の問題として健常者と共生する体制をめざす。

問 不発弾対策

問 昨年の劣化ウラン弾問題に続き、今年も物騒な不発弾騒動に明け暮れたいにやまらぬ。町長、責任をもち、不発弾を処理すべきです。不発弾処理の実態はどうなっているのですか?

総務課長 今年度は西原小学校の校舎の改築現場をはじめ五件発生し、避難世帯人口が合計で、九三六世帯の六、二〇八人で無事に処理されました。

町長 この問題は戦後処理の問題として、国が取り組むべきものであり、機会ある度に要請している。

問 この合併特例法は期限であり、平成十七年三月三十一日が期満であり、逆算して、今頃から精力的に取り組まないといけないものと思います。去る九月定例会以後、どの程度、話が進んでいて、今後どういう方向づけをしようとしているのかお聞きします。

町長 浦添、宜野湾、北中城、中城、西原の五市町村の事務段階での連絡協議会が立ち上げられておりまして、今月いっぱいには一通りの総括をし、次の段階でうするかという方向づけを

市町村合併問題について

町長 浦添、宜野湾、北中城、中城、西原の五市町村の事務段階での連絡協議会が立ち上げられておりまして、今月いっぱいには一通りの総括をし、次の段階でうするかという方向づけを

問 県道浦添〜西原線の進捗状況をお聞きします。

町長 浦添、宜野湾、北中城、中城、西原の五市町村の事務段階での連絡協議会が立ち上げられておりまして、今月いっぱいには一通りの総括をし、次の段階でうするかという方向づけを

問 障害のある人々がいきいき暮らせる環境づくりについて質問します。健常者だけでなく障害を持つ人々これは身体だけでなく精神的な障害を持つ人達にとっても西原町は本当に暮らしやすい地域かお聞きします。

福祉課長 障害者が自立して生活し、積極的に社会参加者が利用しやすい全体を障害者が利用しやすいものへと変えていく事はとても大事な事だと思えます。西原町障害者計画ほのぼのプランに基づき事業を展開していますが、今後は障害者の評価、点検、見直しを行うと共に各種事業推進の為、西原町障害者計画推進協議会を設置していきたい。

問 待機児童の解消と認可外保育園への補助金の増額を

町長 先の見えない不況の中で家計を支える収入を得ようにも小さい子どもを抱えては仕事にも付けないような状況に於いては深刻な状況である待機児童の解消に立及及び認可保育園の増設又は新設が必要であると思いませんか?

町長 無認可をすぐに認可するということではなく施設や体制の問題その他待機児童の解消のためにいろいろ工夫して前向きに検討したいと考えております。

福祉課長 国の設置認可要綱を基に設置の認可の指針に基づいた取り組みをしていきたいと考えております。

問 待機児童を受け入れる無認可の保育園に対し補助金等を交付しその解消を考えてはどうか?

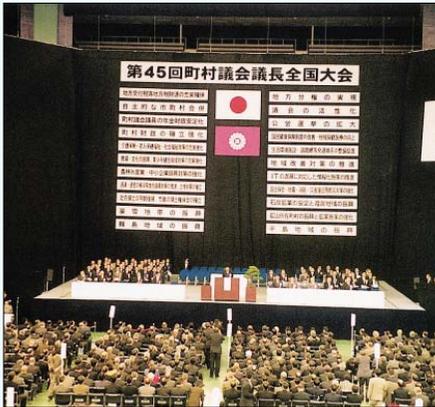
町長 補助金については国や県からもありますが町も一般財源からの待持しもあると考えております。

議員研修会

第45回町村議会議長 全国大会開催される!

11/14

日本武道館
平成十三年十一月十四日、日本武道館において、全国から五、〇〇〇人余の議長・事務局長が参加し、盛大に開催された。本大会において、地方交付税等地方税財源の充実に関する特別決議や各地区からの要望事項等が提案され、全会一致で採択され、関係省庁に要請することを確認し閉会した。本町から議長・事務局長が参加しました。



介護保険広域連合研修会 11/21

カデナ文化センター

20名の議員と3名の職員は町村議長会主催の議員研修に参加しました。

午前：介護保険と広域連合について

藤崎誠一氏 (厚生労働省老健局総務課長補佐)

午後：新世紀! どうなるこれからの日本の政治・経済
～マスコミに出ない政治・経済のウラ話～
板垣英憲氏 (政治経済評論家)



町村議員研修会 2/14

豊見城村中央公民館

22名の全議員と3名の職員が町村議長会主催の議員研修に参加しました。

午前：平成14年度市町村予算編成と
行財政運営の課題について

瀬良垣馨氏 (県・市町村課長)

午後：政局展望

若見隆夫氏 (毎日新聞特別顧問・政治担当)



無機水銀含有LPガス 12/19

漏れ事故の事情聴取

役場大会議室

県内で発生したLPガス漏事故を受け、町議会では南西石油の播磨社長以下担当者呼び、原因等、事実関係の報告を求めた。



編集後記

◇小波津川の2級可川への格上げ議会で同意され一歩前進、いよいよ氾濫の解消に向けて動き出しましたが、一気に解消という訳ではないので行政としても県任せでなく、工事完了までは水害対策をしっかりと行って頂きたい。

◇マリントウンプロジェクトも大詰め、国道329バイパス・県道浦添西原線も都市計画決定される見通し、更に町道小那覇マリントウン線・中部製糖工場跡地へのサンエーの進出と新規プロジェクトが目白押し、目まぐるしく変貌していく西原町をみんなであらたな町にしていきたい。

K.N